

公共事業環境配慮書(案)

建設部 都市・まちづくり課

事業名称		
事業名	街路事業	
整理番号	R4-15	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	飯田市	
箇所名	上郷	
事業年度	令和元年～令和9年	
事業概要		
目的	当路線は、リニア中央新幹線(仮称)長野県駅と飯田市中心市街地を短路で結び、円滑な都市活動を支える都市幹線街路である。 当該整備区間は、道路幅員も狭く線形不良であり、また沿道の小学校等の通学路に指定されているが、歩道も未整備な状況となっている。 このため、リニア中央新幹線(仮称)長野県駅周辺工事と連携し、現道の拡幅整備と併せて電線類等地下化を行い、交通の円滑化、安全で安心な歩行空間の確保を図るとともに飯田地域の玄関口としてふさわしい特色と魅力を備えた快適な都市環境を確保するものである。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1,400m W=6.0(12.0~15.0)m	
関連する事業計画	リニア中央新幹線整備計画、しあわせ信州創造プラン2.0、長野県新総合交通ビジョン、飯田市都市計画マスタープラン	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	河川法の河川区域または河川保全区域 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地 都市計画法の用途地域(住居地域、近隣商業地域) 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律の急傾斜地崩壊危険区域	
その他	なし	
社会的要素		
留意すべき地域の概況		
交通の現況	交通量は12,341台/日と多く、飯田市街地と上郷地区を結ぶ幹線道路として地域の生活道路となっているが、道路幅員が狭く歩道未整備の状況である。	
土地利用の現況	市街地である	
生活関連施設の現況	住居が点在している 周辺に浜井場小学校、上郷小学校、高陵中学校、飯田高校、飯田女子高校がある	
その他	特になし	
自然的環境要素		
環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・交通流の円滑化により、大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 ・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。 ・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
	【騒音、振動の防止】	
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。 ・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。		
【悪臭の防止】		
・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある 近傍に農業用水路が存在する
	【水質汚濁の防止】	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 ・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	【水循環の保全】	
・水田や地下水・湧水を保全する。 ・地下水を使用しない又は使用量を削減する。 ・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	扇状地である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【改変面積の最小化】	
・段階的に工事をを行い、広範な裸地の出現を防止する。 ・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。 ・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、表層土壌の侵食を防止する。		

野生動植物	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
景観	留意すべき地域の概況	特になし
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
	・想定される影響はない。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある
	【文化財等への配慮】	
	・工事着手前に埋蔵文化財調査を実施し、埋蔵文化財保護を行う。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【光害への配慮】	
・想定される影響はない。		

位置図

社会資本整備総合交付金(街路)事業
(都)東新町座光寺線 飯田市 上郷



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したもの(承認番号 平26 関複、第50号)の一部を転載したものである。